

教育出版版 社会歴史

定期テスト ズバリよくでる

解答集

第1章 歴史のとらえ方・調べ方

第2章 原始・古代の日本と世界①

p.2

Step 1

- ① 世紀 ② 年号 (元号) ③ 原人
- ④ 新石器時代 ⑤ メソポタミア文明
- ⑥ 太陽暦 ⑦ 甲骨文字 ⑧ 儒教 (儒学)
- ⑨ ポリス ⑩ イスラム教 ⑪ 縄文土器
- ⑫ 高床倉庫 ⑬ 卑弥呼 ⑭ 大和政権
- ⑮ 渡来人

p.3~5

Step 2

- ① ① 西暦 ② イエス ③ 古代 ④ ①
- ② ① 氷河時代 ② 火の使用 ③ ラスコー
- ④ ナウマンゾウ
- ③ ① ㊦ A ② ㊦ D ③ ㊦ B ④ ㊦ C
- ② チグリス川・ユーフラテス川
- ③ 月の満ち欠け ④ コーラン
- ④ ① ポリス ㊦ ローマ ①
- ② アレクサンドロス (大王)
- ③ ヘレニズム文化 ④ コロッセウム
- ⑤ ① 記号 ㊦ 名前 土偶
- ② 縄目のような文様 ③ 高床倉庫
- ⑥ ① A I B II ② 邪馬台国
- ③ 支配者であった人々 豪族
- 政権の名称 大和政権

考え方

- ① ① 6世紀のローマで考え出された。現在では、広く国際的に用いられている。
- ② イエスが生まれたとされる年を基準に、それ以前を紀元前何年、それ以後を紀元後何年と表す。
- ③ 日本では弥生時代から平安時代までをさす。
- ④ 全国各地に古墳がつけられた時期なので古墳時代と名づけられた。
- ② ① 寒冷な時期を氷期、比較的暖かい時期を間氷期という。
- ② 狩りなどで得た食べ物の加工や、暖をとる

ために火を使用した。

- ③ フランス南西部のラスコーにある約1万5000年前の遺跡である。
- ④ 野尻湖からはナウマンゾウのほか、オオツノジカや打製石器なども出土した。
- ③ ① ㊦はAのナイル川流域でおこったエジプト文明の遺跡。②はDの中国の秦の時代の遺跡。③はBのチグリス川とユーフラテス川流域でおこったメソポタミア文明の遺跡。④はCのインダス川流域でおこったインダス文明の遺跡。
- ② メソポタミア文明は、これらの2つの川に挟まれた豊かな土地で発達した。
- ③ 太陰暦のこと。新月と新月の間を1か月として、1年を12か月とした。
- ④ コーランは信者のあり方を定めている。
- ④ ① ポリスでは成年男子の市民による話し合いで政治が行われ、ローマ帝国では皇帝が政治を行った。
- ② アレクサンドロス大王は、東方遠征でペルシャを征服した。
- ③ アレクサンドロス大王による東方遠征によって、ギリシャとオリエントの文化が融合した。
- ④ コロッセウムはローマ帝国の時代につくられた大規模な円形闘技場である。
- ⑤ ① 縄文時代に日本列島で使われていたものは㊦土偶。㊦石包丁、㊦銅鐸、㊦田下駄はいずれも弥生時代に使われていた。
- ② 縄目のような文様が多くみられることから、縄文土器と名づけられた。
- ③ 収穫した稲を保管した。ねずみなどが入らないようにくふうがされている。
- ⑥ ① Aの文から金印が「漢委奴国王」と刻まれたものだと考えられる。この金印は後漢の光武帝が奴国の王に与えたものなのでIの地図が正しいと判断できる。B卑弥呼が中国に使いを送った記述は魏の歴史書『魏志』倭人伝にみられることから、IIの地図が正

しいと判断できる。

- ② 卑弥呼は30ほどの小国を統一していたとされる。
- ③ 大和地方（現在の奈良県）付近の豪族が中心となったことから大和政権とよばれる。

p.6~7

Step 3

- ① ① アフリカ大陸 ② ナイル川
- ③ ㊦・㊧ ④ くさび形文字 ⑤ インダス
- ⑥ ローマ帝国 ⑦ 宗教 ⑧ 人物 ㊨
- ② ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ③ ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ④ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ⑤ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ⑥ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ⑦ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ⑧ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ⑨ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ⑩ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ⑪ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ⑫ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ⑬ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ⑭ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ⑮ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ⑯ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ⑰ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ⑱ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ⑲ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ⑳ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㉑ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㉒ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㉓ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㉔ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㉕ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㉖ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㉗ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㉘ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㉙ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㉚ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㉛ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㉜ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㉝ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㉞ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㉟ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㊱ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㊲ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㊳ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㊴ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㊵ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㊶ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㊷ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㊸ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㊹ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㊺ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㊻ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㊼ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㊽ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㊾ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- ㊿ ① ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

考え方

- ① ① 人類は約700万年から600万年前のアフリカに出現したと考えられている。
- ② エジプト文明は紀元前3000年ごろ、ナイル川流域でおこった。
- ③ エジプト文明でつくられたのは㊦と㊧。㊩と㊨はメソポタミア文明でつくられたものである。
- ④ くさび形文字は象形文字の1つ。写真はハンムラビ法典である。
- ⑤ 紀元前2600年ごろ、インダス川流域でインダス文明がおこった。
- ⑥ 地中海沿岸地域を支配したのはローマ帝国。
- ⑦ 地図中Eのアラビア半島で、㊩イスラム教が㊨ムハンマドによって開かれた。
- ⑧ ① ㊦は黄河。黄河と長江流域で中国文明がおこった。㊩は孔子。孔子の教えは弟子によって『論語』にまとめられた。㊨は秦。始皇帝によりはじめて中国が統一された。㊨はシルクロード。中国と西方を結び、中国からは絹、西方からはぶどうなどがもたらされた。
- ⑨ ② 下線部aの文字は甲骨文字のこと。殷(商)では政治や祭りなどの大事なことは占いで決められ、その記録は亀の甲や動物の骨に刻まれた。また、現在の漢字のもととなった。よって㊦と㊧は○、㊩は×。
- ⑩ ① 写真Iは打製石器。石を打ち砕いて作られ、するどい刃をもっている。打製石器を使って生活していた時期を旧石器時代という。
- ② 猿人は約700~600万年前、原人は約240万年前、新人は約20万年前に出現した。
- ③ 写真IIは磨製石器。石の表面を磨いて作られ、木の加工などに使われた。
- ④ 磨製石器や土器を使って生活していた時代を新石器時代という。
- ⑤ ① 写真は竪穴住居の内部。地面を掘り下げて床を作り、柱を立て、その上に草や木の枝で屋根をもうけた。縄文時代から奈良時代まで一般の人々の住居として作られていた。
- ② 世紀は100年を単位にして年代を区切る表し方。よって、1世紀は紀元1年から紀元100年までのことをさす。
- ③ 年表中のcの時期は弥生時代。弥生時代には、稲作が広まったことで人々が蓄えをもつようになったため、ムラのなかに貧富の差と身分の差が生まれ、土地や水の利用をめぐるムラどうしの争いがたびたび起こった。また、大陸から金属器が伝わり、青銅器は祭りの道具、鉄器は武器や工具として使われた。よって㊦と㊩は○、㊨は×。
- ④ 魏の歴史書『魏志』倭人伝には、卑弥呼が魏に使いを送ったことのほか、当時の日本や邪馬台国の様子などが記されている。
- ⑤ 4世紀の大和政権は、大陸の進んだ技術や鉄を求めて伽耶諸国や百済と関係を深め、高句麗や新羅と対立した。しかし、朝鮮半島での戦いに敗れることもあったため、5世紀になると大和政権の大王はたびたび南朝へ使いを送り、皇帝の権威を借りて王としての地位を高め、朝鮮半島の国々との関係を有利なものにしようとした。

第2章 原始・古代の日本と世界②

p.8

Step 1

- ① 唐 とう ② 十七条の憲法 じゅうしちじょう けんぽう ③ 飛鳥文化 あすか
- ④ 大化の改新 たいか かいしん ⑤ 壬申の乱 じんしん らん
- ⑥ 大宝律令 たいほうりつりょう ⑦ 平城京 へいじょうきょう ⑧ 墾田永年私財法 こんでんえいねん しざいのほう
- ⑨ 遣唐使 けんとうし ⑩ 東大寺 とうだいじ ⑪ 万葉集 まんようしゅう ⑫ 平安京 へいあんきょう
- ⑬ 藤原道長 ふじわらのみちなが ⑭ 天台宗 てんだいしゅう ⑮ 寝殿造 しんでんづくり ⑯ 枕草子 まくらのそうし

p.9~11

Step 2

- ① ① 律令 りつりょう ② 長安 ちやうあん ③ ㊦
- ④ 人物 ムハンマド 神の名前 アッラー
- ⑤ ㊧
- ② ① ㊦ 摂政 せつせい ① 冠位十二階 かんい じゅうにかい ㊦ 十七条の憲法 じゅうしちじょう けんぽう
- ② 飛鳥 あすか ③ 法隆寺 ほうりゅうじ ④ 小野妹子 おののいもこ
- ③ ① ㊦ 天武 てんむ ① 聖武 しょうむ ㊦ 中臣鎌足 なかのみのかまたり (藤原鎌足 ふじわらのかまたり)
- ② 藤原京 ふじわらきょう ㊦ 墾田永年私財法 こんでんえいねん しざいのほう
- ② 公地公民 こうち こうみん ③ 防人 さきもり
- ④ 例 仏教の力で国を守るため。
- ④ ① 東大寺 とうだいじ ② 鑑真 かんじん
- ③ ㊦ 日本書紀 にほんしょき ① 風土記 ふんどき ④ 大伴家持 おおとものやかもち
- ⑤ ① ㊦ 桓武 かんむ ① 平安京 へいあんきょう ㊦ 坂上田村麻呂 さかのうえの たむら まろ
- ② ㊧ ③ 摂関政治 せつかんせいぎ ④ 荘園 しょうえん
- ⑥ ① 菅原道真 すがわらのみちざね ② 平等院鳳凰堂 びやうどういんほうおうどう ③ 真言宗 しんごんしゅう
- ④ 記号 ㊦ 正しい作者名 清少納言 せいしょう なごん
- ⑤ 大和絵 やまと え

考え方

- ① ① 律は刑罰、令は政治に関する決まり。
- ② 長安は唐の都で、国際的な都市であった。
- ③ 高句麗が滅びた地域に、渤海がおこった。渤海は日本と盛んに交流をした。
- ④ イスラム世界(イスラム帝国)は、イスラム教を開いたムハンマドの後継者が築いた。イスラム教の神はアッラーである。
- ⑤ イスラム世界の都はバグダッド。メッカはイスラム教の聖地である。
- ② ① ㊦ 摂政は、天皇を補佐するための職位。① 冠位十二階は、役人の階級を冠の色や飾りで表す制度。㊦ 十七条の憲法は、役人としての心構えを説いたもの。
- ② 飛鳥は現在の奈良県南部。
- ③ 写真の仏像は、法隆寺金堂の釈迦三尊像。

- ④ 聖徳太子(厩戸皇子)は遣隋使として小野妹子を派遣した。
- ③ ① ㊦ 天武天皇は天智天皇の弟にあたり、壬申の乱で勝利した大海人皇子である。①は、東大寺を建立した聖武天皇。㊦ 蘇我氏を倒し、中大兄皇子と大化の改新を行ったのは中臣鎌足(のちの藤原鎌足)。㊦ 藤原京は、飛鳥地方につくられた日本で最初の本格的な都である。㊦ 墾田永年私財法は、新しく開墾した土地の永久所有を認める法律。
- ② 国家が土地と人民を直接支配することを、公地公民という。
- ③ 中大兄皇子は、唐や新羅の攻撃に備え、防人を九州北部に配置した。
- ④ 聖武天皇は、仏教の力で国を守ろうとし、国ごとに国分寺と国分尼寺を建てた。
- ④ ① 写真Ⅰの大仏は、全国の国分寺の中心である東大寺におさめられている。
- ② 写真Ⅱは鑑真。何度も航海に失敗し、失明しながらも日本に渡り、仏教を伝えた。
- ③ ㊦は歴史書の『日本書紀』。① 地方の国ごとの地理や産物などを記したのは『風土記』。
- ④ 『万葉集』をまとめたとされるのは大伴家持。『万葉集』には、歌人、貴族、防人などがよんだ歌が収められている。
- ⑤ ① ㊦の桓武天皇は、都を平城京から長岡京、さらに① 平安京へと移した。また、㊦ 坂上田村麻呂を征夷大將軍とする大軍を送って蝦夷を攻め、東北地方まで勢力を広げた。
- ② 「蝦夷」は東北地方に住んでいた人々。
- ③ 藤原氏は摂政や関白の地位について政治の実権を握った(摂関政治)。
- ④ 貴族や寺社の所有地は荘園とよばれた。荘園は貴族や寺社の重要な収入源となった。
- ⑥ ① 写真Ⅰの菅原道真は、唐のおとろえと往復の危険を理由に、遣唐使派遣の停止を訴えた。
- ② 写真Ⅱの平等院鳳凰堂は阿彌陀堂で、阿彌陀如来像が置かれている。
- ③ 空海が開いた宗派は真言宗。同時期に最澄が開いた宗派は天台宗。
- ④ 『枕草子』は清少納言が仮名文字で書いた作品。
- ⑤ 平安時代の絵画には、大和絵の技法で描か

れた絵巻物が多い。

p.12~13

Step 3

- ① ① 聖徳太子 (厩戸皇子) ② ヘレニズム文化
 ③ ㊦ ④ 国分寺・国分尼寺
 ⑤ ①・㊥ ⑥ ㊦ 紀貫之 ⑦ 紫式部
 ⑦ ㊦ ○ ① × ㊦ ○ ㊥ ○
 ② ① 新羅 ② 百済 ③ ① ④ ㊦
 ③ ① 仏教 ② ㊦
 ③ ㊦ 大宰府 ① 国司 ㊦ 郡司
 ④ 例 都まで運ばなければならなかったから。
 ⑤ 桓武天皇 ⑥ 藤原道長
 ⑦ ㊦ A ① C ㊦ B

考え方

- ① ① 法隆寺は聖徳太子が建てた寺院で、現存する世界最古の木造建築物である。
 ② ヘレニズム文化は紀元前にギリシャとオリエントの文化が融合したもので、中国を経由して日本にも伝わり、影響を与えた。
 ③ 『古事記』『日本書紀』は神話や国の成り立ちを、『風土記』は地方の国の地理や産物、伝承などを、『万葉集』は和歌をまとめたものである。
 ④ 聖武天皇は伝染病や災害などを避け、国を守るために、地方の国ごとに国分寺と国分尼寺を建て、都には東大寺を建てた。
 ⑤ ①の東大寺の正倉院宝物の五絃琵琶と、㊥の鳥毛立女屏風は天平文化の文化財。㊦は弥勒菩薩像で飛鳥文化の文化財、㊦は阿弥陀如来像で平安時代の文化財。
 ⑥ ㊦の『古今和歌集』は紀貫之らによってまとめられた。①の『源氏物語』は紫式部が書いた長編小説。
 ⑦ ㊦仮名文字は万葉仮名の漢字を変形させたものである。①平仮名と片仮名の両方がつくられた。㊦漢文よりも、読み書きが簡単で自分の考えなどを表現しやすかった。㊥仮名文字で書かれた文学作品として『源氏物語』や『枕草子』があげられる。
 ② ① A は高句麗， B は新羅， C は百済。新羅は唐と結び、高句麗と百済を滅ぼした。
 ② 7世紀後半、中大兄皇子は百済の復興を助

けるために大軍を送ったが、白村江の戦いで唐と新羅の連合軍に敗れた。以後、中大兄皇子は、唐と新羅の攻撃に備えて山城や水城を築いたり、九州北部に防人を置いたりした。

- ③ B の新羅を滅ぼしたのは高麗。
 ④ ㊦の阿倍仲麻呂は8世紀前半に遣唐使として派遣され、唐で一生を終えた。㊦の菅原道真は9世紀末に遣唐使の停止を提案した人物、①の最澄は9世紀初めに遣唐使とともに唐に渡った人物、㊥の小野妹子は7世紀初めに隋に派遣された人物。
 ③ ① 資料Ⅰの十七条の憲法は、聖徳太子が仏教や儒教の教えに基づいて作ったもので、「仏」、「法」(=仏教の教え)、「僧」の3つを大事にすることなどが説かれている。
 ② ㊦の冠位十二階は聖徳太子が7世紀前半に定めた。㊦と①は7世紀後半のできごと。中大兄皇子は白村江の戦いのあと、天智天皇として即位し、その死後にはあとつぎをめぐる争い(壬申の乱)が起こった。
 ③ 図Ⅱの㊦にあてはまるのは大宰府で、九州地方に置かれ、軍事や外交を担当した。①は国司で、中央から貴族が派遣された。㊦は郡司で、その地方の豪族が任命された。
 ④ 資料Ⅲの木簡には、調として納めた品物の産地や品物が書かれている。調や庸は、人々が都に運ばなければならなかった。
 ⑤ 平安京に都を移したのは桓武天皇である。
 ⑥ 資料Ⅳは藤原道長の歌で、四人の娘を天皇にとつがせ、満足した様子がうかがえる。
 ⑦ ㊦藤原京がつけられたのは7世紀末で、天武天皇の死後に即位した持統天皇のものでできごと。①坂上田村麻呂が征夷大將軍に任命されたのは、平安京に都が移されたあとである。㊦聖徳太子が私財法が出されたのは奈良時代である。

第3章 中世の日本と世界①

p.14

Step 1

- ① 棟梁 ② 院政 ③ 平清盛
 ④ 壇ノ浦の戦い ⑤ 征夷大将軍
 ⑥ 御家人 ⑦ 執権 ⑧ 承久の乱
 ⑨ 御成敗式目 (貞永式目) ⑩ 二毛作
 ⑪ 金剛力士像 ⑫ 平家物語 ⑬ 禅宗

p.15~17

Step 2

- ① ① A 棟梁 B 惣領
 ② C 平将門 D 藤原純友
 ③ ① ④ 奥州藤原氏
 ② ① 鳥羽上皇 ② 平清盛 ③ 保元の乱
 ④ 国名 宋 場所 C
 ③ ① A 地頭 B 守護 C 六波羅探題 ② ④
 ③ 源頼朝 ④ 領地 (土地) ⑤ 封建制度
 ④ ① 北条政子 ② 承久の乱 ③ 京都
 ④ 御成敗式目 (貞永式目) ⑤ 北条泰時
 ⑤ ① 平家物語 ② ⑦ ③ 定期市 ④ ①
 ⑥ ① A 浄土宗 B 浄土真宗 (一向宗)
 ② C 一遍 D 日蓮 ③ E ⑨ F ⑦ G ①
 ④ 禅宗 ⑤ 東大寺南大門

考え方

- ① ① 武士の一族を率いる人物を A 棟梁といい、一族 (家子) を率いる人物を B 惣領という。
 ② 935年、関東地方で反乱を起こしたのは C 平将門。同じ頃、瀬戸内地方で反乱を起こしたのは D 藤原純友。これらの反乱は武士がしずめた。
 ③ 下線部 E の戦いをしずめた人物は①源義家。その後、源氏は東国武士団と結びつきを深め、武家の棟梁としての地位を向上させた。
 ④ 奥州藤原氏は清衡・基衡・秀衡の3代にわたって繁栄した。写真は12世紀前半に清衡が建てた中尊寺金色堂の内部。
 ② ① 鳥羽上皇の時代には、院の力が強くなり、武士や中小貴族が荘園の保護を求めて、院や有力貴族・寺社に自らの土地を寄付した。
 ② 平清盛は、一族に高い位や役職を独占させたほか、娘を天皇と結婚させ、その子を天皇に即位させるなどして勢力をふるった。

- ③ 保元の乱で源氏と平氏は地位を高めた。
 ④ 清盛は C にあった宋と貿易を行い、その利益は平氏の経済的基盤となった。
 ③ ① A 地頭は荘園や公領ごとに、B 守護は国ごとに置かれ、守護には有力御家人が任命された。C 六波羅探題は京都の警護や朝廷の監視のほか、西国の御家人たちもまとめた。
 ② 後鳥羽上皇が幕府を倒そうと起こした④承久の乱ののちに六波羅探題が置かれた。
 ③ 源頼朝は鎌倉を拠点とし、幕府を開いた。
 ④ 御恩の一方で、御家人は将軍に忠誠を誓い、京都や鎌倉の警備の義務を負った (奉公)。
 ⑤ 封建制度に基づく政権は鎌倉幕府が最初。
 ④ ① 北条政子は頼朝の死後に、父の北条時政とともに実権を握り、尼将軍とよばれた。
 ② 政子はこの訴えで御家人たちに団結をうながして後鳥羽上皇の軍を破った。
 ③ 六波羅探題は承久の乱後に京都に置かれた。
 ④ 御成敗式目 (貞永式目) には、頼朝以来の裁判の例や御家人の権利や義務、武家社会の慣習などがまとめられた。
 ⑤ 1232年、執権の北条泰時が定めた。
 ⑤ ① 『平家物語』は源平の争いを中心に、平氏の繁栄から滅びゆくさまを記した軍記物。
 ② ⑦ 『枕草子』は清少納言の随筆で平安時代半ばに栄えた国風文化のころの作品。
 ③ 毎月決まった日に開かれ、鎌倉時代には月に3回、室町時代には月に6回開かれた。
 ④ ①の宋銭が正しい。⑦富本銭と⑨和同開珎は飛鳥時代につくられた銅銭。⑤明銭は室町時代に明から輸入された。
 ⑥ ① 法然が開いたのは A 浄土宗。法然の弟子であった親鸞は B 浄土真宗を開いた。
 ② 踊念仏で知られる時宗を開いたのは C 一遍。日蓮宗 (法華宗) を開いたのは D 日蓮。
 ③ 法然は「南無阿弥陀仏」と念仏を唱えることで極楽浄土に行けると説いたので E には⑨が、日蓮は「南無妙法蓮華経」と題目を唱えることで人も国も救われると説いたので F には⑦が、栄西や道元は座禅による修行で悟りを開こうとする教えを説いたので G には④がそれぞれあてはまる。
 ④ 禅宗は鎌倉幕府に保護され、武士を中心に

広く受け入れられ、鎌倉では禅宗の影響を受けた文化が発達した。

- ⑤ 東大寺南大門の左右には仏師の運慶らがつくった金剛力士像が置かれている。

p.18~19

Step 3

- ① ① a A b C c B ② 平泉 ③ ①
 ④ 太政大臣 ⑤ 壇ノ浦 ⑥ ㊦ ⑦ ㊩
 ② ① 源頼朝 ② 執権
 ③ A 御家人 B 御恩 C 奉公 ④ 封建制度
 ③ ① 例 戦乱が続き、人々が救いを求めたため。
 ② ㊦ ③ 例 踊りながら念仏を唱える。
 ④ ㊨
 ④ ① 平家物語 ② ㊦・㊨
 ③ ㊦ 兼好法師 ④ 鴨長明 ㊨ 藤原定家
 ④ ㊦

考え方

- ① ① a 下総（千葉県）の豪族である平将門が関東地方で起こした乱なので A が正しい。b 伊予（愛媛県）の国司である藤原純友が起こした乱なので C が正しい。c 保元の乱は京都で起こった乱なので B が正しい。
 ② 奥州藤原氏は後三年合戦の後に D 平泉（岩手県）を拠点に栄えた。平泉には中尊寺金色堂がある。
 ③ ① 源義朝が正しい。保元の乱は、1156年に天皇家や藤原氏の対立がからんで起こった朝廷での権力争い。後白河天皇は平清盛や源義朝らを味方につけて勝利した。
 ④ 太政大臣となった平清盛は平氏中心の政治を行ったため、地方の武士団や貴族・寺社などに不満を生じさせた。
 ⑤ 平氏は壇ノ浦（山口県）の戦いで滅びた。
 ⑥ 1221年に承久の乱を起こしたのは後鳥羽上皇。幕府側が勝利し、隠岐（島根県）に流された。
 ⑦ 源頼朝は平氏の滅亡後に、源義経をかくまったとして奥州藤原氏を攻め滅ぼしたので、㊩が正しい。
 ② ① 鎌倉幕府を開いたのは源頼朝。
 ② 執権が幕府の実権を握って、政治を行うことを執権政治という。

- ③ 将軍に従う武士の A 御家人に恩恵を与えることを B 御恩という。御家人は、将軍に忠誠を誓い、幕府や朝廷の警護、戦いへの参加など C 奉公を行った。
 ④ 土地を仲立ちにして主従関係を結ぶしくみのこと。
 ③ ① 12世紀から13世紀は戦乱や飢饉が続いた時代であったため、人々は新しい仏教の教えに救いを求めた。
 ② ㊦が正しい。① 時宗を開いたのは一遍。㊨ 臨濟宗を開いたのは栄西。㊩ 曹洞宗を開いたのは道元。
 ③ 写真には踊りながら念仏を唱える踊念仏の様子が描かれている。時宗を開いた一遍は、踊念仏によって人々に念仏信仰を広めた。
 ④ 鎌倉幕府の保護を受けていたのは栄西や道元が伝えた禅宗で、㊨が正しい。㊦は浄土宗の教え、①は日蓮宗（法華宗）の教え、㊩は浄土真宗（一向宗）の教え。
 ④ ① 資料は『平家物語』の冒頭。琵琶法師によって語られ、人々に広く親しまれた。
 ② 鎌倉時代には、㊦似絵と呼ばれる写実的な肖像画や戦いの様子などを描いた㊨絵巻物が多く描かれるようになった。① 大和絵と㊩寝殿造は平安時代後半に発達した国風文化の頃に生まれた。
 ③ ㊦『徒然草』の作者は兼好法師。④『方丈記』の作者は鴨長明。㊨『新古今和歌集』は、後鳥羽上皇の命によって藤原定家らが西行などの歌をまとめた。
 ④ ㊦が間違い。鎌倉時代には、西日本を中心に米を収穫した後に麦を栽培する二毛作が行われた。鉄製の農具も普及し、草木を焼いた灰などの肥料も使われ、農業生産力が高まった。稲作が東北地方に伝わったのは弥生時代。

第3章 中世の日本と世界②

p.20

Step 1

- ① モンゴル帝国 ② 元 ③ 元寇 ④ 徳政令
 ⑤ 建武の新政 ⑥ 守護大名 ⑦ 足利義満
 ⑧ 管領 ⑨ 勘合貿易 ⑩ 朝鮮 ⑪ 琉球王国
 ⑫ 応仁の乱 ⑬ 足利義政 ⑭ 水墨画

p.21~23

Step 2

- ① ① チンギス=ハン ② 元 ③ 高麗 ④ ①
 ② ① 徳政令 ② ①
 ③ 後醍醐天皇 ④ ㊦
 ③ ① 建武の新政 ② 南北朝の内乱
 ③ A 守護 B 鎌倉府 C 管領 ④ 足利義満
 ④ ① 陽明学 ② 勘合 ③ ①
 ④ アイヌ民族 ⑤ 琉球王国
 ⑤ ① A 観阿弥 B 狂言 C 連歌 D 雪舟
 E お伽草子 ② 足利義満 ③ ㊦
 ⑥ ① A 正長 B 応仁 C 山城 ② 銀閣
 ③ 石川県 ④ ① ⑤ 下剋上

考え方

- ① ① チンギス=ハンは、モンゴル高原の諸部族を統一してモンゴル帝国を築いた。
 ② モンゴル帝国の5代皇帝のフビライ=ハンは自らが治めていた中国北部を元とし、宋(南宋)を滅ぼして中国全土を支配した。
 ③ 10世紀前半に朝鮮を統一した高麗は、13世紀後半に元の侵攻を受けて服属した。
 ④ ①の8代執権北条時宗が正しい。二度にわたる元の襲来を元寇という。
 ② ① 困窮した御家人の救済を目的に出されたが、効果は一時的で、かえって社会が混乱した。
 ② 悪党は、幕府や荘園領主に反抗し、武装して押し入ったり、年貢をうばったりした人々。
 ③ 後醍醐天皇は、足利尊氏や新田義貞を味方にして政治の実権を朝廷に戻そうと挙兵し、鎌倉幕府滅亡後は建武の新政を行った。
 ④ ㊦足利尊氏が正しい。尊氏は、その後、後醍醐天皇に反発して兵をあげ、新しい天皇を立てて室町幕府を開いた。
 ③ ① 写真の人物は後醍醐天皇。後醍醐天皇は天皇中心で公家を重視した新しい政治(建武

の新政)を始めたが、武士の反発を招いた。

- ② 足利尊氏が新たな天皇を立てた北朝、吉野(奈良県)に逃れた後醍醐天皇の南朝が並び立った時代を南北朝時代という。
 ③ A 守護は一国を支配した役職。B 鎌倉府は関東一帯を支配した地方機関。C 管領は將軍の補佐役である。
 ④ 南朝の勢力がおとろえたのを受けて、南朝を北朝に合一させたのは3代將軍足利義満。
 ④ ① 陽明学は、実践を重視して朱子学を批判した。
 ② 倭寇と正式な貿易船とを区別するために勘合という合札が使われた。
 ③ 14世紀末に㊦李成桂が高麗を滅ぼし、朝鮮を建国した。
 ④ 蝦夷地の先住民族をアイヌ民族という。
 ⑤ 15世紀初めに中山王の尚巴志は、山北(北山)・中山・山南(南山)を統一し、琉球王国を建国した。
 ⑤ ① A 観阿弥は子の世阿弥とともに足利義満の保護を受けて能を大成した。B 狂言は喜劇を基本とし、当時の話し言葉で演じられた。C 連歌は宗祇によって確立された。D 雪舟は明で技法を学び、日本の水墨画を大成させた。E お伽草子には「浦島太郎」や「ものぐさ太郎」などがある。
 ② 金閣は足利義満が京都の北山に建てた。
 ③ ㊦が正しい。書院造は銀閣などに見られる。
 ⑥ ① A には正長、B には応仁、C には山城が当てはまる。これらのできごととは下剋上の風潮の広がりや、幕府の衰退につながるできごとなので覚えておこう。
 ② 足利義政は、京都の東山に別荘である銀閣を建てた。
 ③ 加賀は現在の石川県のこと。
 ④ ①浄土真宗が正しい。加賀の一向一揆では、守護大名を追い出した後、100年近く一向宗の信者による自治が続いた。
 ⑤ 下剋上の風潮が社会に広がったことで、有力な武士や守護大名の家臣などが戦国大名へと成長した。

p.24~25

Step 3

① ① A 文永の役 B 弘安の役 C 後醍醐天皇

D 足利尊氏 E 応仁の乱

② a ㊦ b ㊧ c ㊨ ③ フビライ=ハン

④ 例 恩賞や役職などで、公家や一部の武士のみを重んじたため。

⑤ ㊩ ⑥ 分国法

② ① ㊦ 二毛作 ㊪ かんがい ㊫ 綿

② 馬借 ③ 座 ④ 惣

③ ① ㊬ ユーラシア ㊭ 李成桂 ② ㊮

③ 例 正式な貿易船であることを証明するため。

④ ハングル

④ ① 書院造 ② 水墨画 ③ ㊯ ④ 禅宗

考え方

- ① ① 元軍による二度の襲来（元寇）のうち、1274年の襲来を A 文永の役、1281年の襲来を B 弘安の役という。建武の新政を始めたのは C 後醍醐天皇。後醍醐天皇と対立し、武家政治の復活をめざして室町幕府を開いたのは D 足利尊氏。1467年に京都で起こった争いは E 応仁の乱である。
- ② a は㊦があてはまる。鎌倉幕府は困窮した御家人のために徳政令を出したが、あまり効果はなかった。b には㊧があてはまる。足利尊氏が立てた北朝と吉野に逃れた後醍醐天皇の南朝の2つの朝廷が立ち並んだ。c には1428年に起こった㊨正長の土一揆があてはまる。
- ③ 二度にわたり日本に侵攻した時の元の皇帝はフビライ=ハンである。
- ④ 建武の新政は天皇が中心の政治であり、恩賞や役職などで、公家や一部の武士を重視して従来の武士のしきたりを無視したため、多くの武士の反発を招いた。
- ⑤ ㊩は足利義政が行ったことなので誤り。
- ⑥ 戦国大名は領国の支配を強化するために、分国法という独自の法律を定めた。
- ② ① 室町時代の農業では、㊦二毛作がさらに広まり、㊪かんがいの技術が進んだことで収穫が増えた。16世紀に朝鮮から伝わったの

は㊫綿である。

- ② 陸上交通では馬借や、牛や馬に車を引かせて運搬する車借が活躍した。
- ③ 座は、寺社や有力貴族に銭などを納めることで保護を受け、商品の製造や販売を独占する権利を得た。
- ③ ① ㊬ モンゴル帝国は東ヨーロッパまで侵攻し、ユーラシア大陸の広い地域を支配していた。㊭ 14世紀末、李成桂は高麗を滅ぼすと朝鮮を建国した。
- ② 朝鮮との貿易を独占していたのは対馬の宗氏。日本からは銅・刀剣などを輸出し、朝鮮から綿布や陶磁器などを輸入した。
- ③ 資料Ⅰの合札を勘合といい、これを使った日本と明との貿易を勘合貿易という。明は貿易の相手国に合札の半分を与え、照合することで正式な貿易船であることを確かめた。
- ④ 資料Ⅱの文字はハングル。朝鮮ではこのほか、金属活字の印刷技術など独自の文化を発展させていった。
- ④ ① 写真Ⅰは銀閣と同じ敷地にある東求堂同仁齋の一室。写真のように床の間などを設けた建築様式を書院造という。禅僧の住まいになっている。
- ② 写真Ⅱのような絵を水墨画といい、禅僧の雪舟が中国で技術を学んだのち、日本の水墨画を大成させた。
- ③ 北陸地方に浄土真宗（一向宗）を広めたのは㊮蓮如。1488年、加賀では信者が団結して一向一揆を起こし、守護大名を倒して約100年にわたり自治を行った。
- ④ 禅宗は室町幕府でも保護された。禅僧は使者として中国や朝鮮に派遣され、政治や外交で重要な役割を担ったほか、文化にも影響を与えた。

第4章 近世の日本と世界①

p.26

Step 1

- ① ローマ教皇 ② 十字軍 ③ ルネサンス
- ④ プロテスタント ⑤ コロンブス
- ⑥ バスコ=ダ=ガマ ⑦ マゼラン
- ⑧ イエズス会 ⑨ 鉄砲 ⑩ 南蛮貿易
- ⑪ 織田信長 ⑫ 楽市・楽座 ⑬ 太閤検地
- ⑭ 刀狩 ⑮ 桃山文化

p.27~29

Step 2

- ① ① ルター ② エルサレム ③ ルネサンス
- ④ ①
- ② ① ⑦ インド ① バスコ=ダ=ガマ
- ② マゼラン
- ② イエズス会 ③ オランダ
- ③ ① ⑦ ポルトガル ① 種子島 ② ローマ教皇
- ② キリシタン大名 ③ ④ ④ 南蛮貿易
- ④ ① 今川義元 ② ① ③ 長篠の戦い
- ④ 楽市・楽座 ⑤ 本能寺
- ⑤ ① ⑦ 太閤検地 ① 刀狩 ② 兵農分離
- ② ② ③ ④ ④
- ⑥ ① 姫路城 ② 狩野永徳 ③ かぶき踊り
- ④ 千利休 ⑤ 南蛮文化

考え方

- ① ① ルターは免罪符を売って資金を集めるカトリック教会に抗議し、キリスト教会の腐敗を正す宗教改革を始めた。
- ② キリスト教のほか、イスラム教やユダヤ教にとっての聖地でもある。
- ③ ルネサンスとは、古代ギリシャやローマの文化を復興させようとした動きのこと。
- ④ レオナルド=ダ=ビンチは科学の分野でも活躍した人物。
- ② ① 15~16世紀にかけて、ポルトガルとスペインは貿易や布教のため、新航路の開拓を行った。15世紀末にはスペインの援助を受けたコロンブスが⑦インドを目指して大西洋を横断し、ポルトガルの④バスコ=ダ=ガマがアフリカ南端を回ってインド航路を開拓した。そして、16世紀前半にスペインの⑤マゼラン一行が世界一周を達成した。

- ② イエズス会はカトリック勢力を立て直すため、海外布教を積極的に行った。
- ③ 東インド会社は、インドネシアを根拠地として、アジアでの貿易の実権を握った。
- ③ ① ⑦と①について、日本に鉄砲を伝えたのは、種子島に漂着したポルトガル人である。鉄砲は戦国大名の注目を集め、堺(大阪府)や国友(滋賀県)などで生産された。②について、九州のキリシタン大名の大友・有馬・大村の三氏は、ローマ教皇のもとに4人の少年使節(天正遣欧使節)を派遣した。
- ② キリスト教の信者をキリシタンという。
- ③ 長崎はキリシタン大名の大村氏によって開港され、イエズス会に寄進された。
- ④ ポルトガル人やスペイン人を南蛮人とよんでいたことに由来する。
- ④ ① 信長は、駿河(静岡県)を支配していた今川義元を桶狭間の戦いで破った。
- ② 室町幕府最後の将軍は④足利義昭。
- ③ 写真は長篠の戦いの様子。信長は鉄砲を活用し、甲斐(山梨県)の戦国大名である武田勝頼を破った。
- ④ 安土城下などで座の特権を廃止し、市の税を免除して、経済の活性化を図った。
- ⑤ 1582年、信長は家臣の明智光秀に背かれて京都の本能寺で自害した。その後、豊臣秀吉が光秀を倒して信長の後継者となり、全国統一を進めた。
- ⑤ ① 秀吉が命じた領地の調査を⑦太閤検地という。また、一揆などを防ぎ、農業に専念させるため①刀狩を行い、百姓が町人になることや武士が百姓・町人になることを禁止して②兵農分離を進めた。
- ② 秀吉は1585年に②関白となり、朝廷から豊臣姓をさずけられた。
- ③ ②安土城は信長によって築かれた。
- ④ 朝鮮出兵が行われたのは、1592年と1597年の2度なので②が誤り。
- ⑥ ① 姫路城は桃山文化の代表的な城郭。
- ② 写真IIは『唐獅子図屏風』。狩野永徳は、華やかな色彩の屏風絵や障壁画などを描いた。
- ③ かぶき踊りは女歌舞伎に発展し、のちに男性のみが演じる歌舞伎のもととなった。

- ④ 千利休は信長や秀吉に仕え、茶の湯を広めた。
- ⑤ 西洋の学問や技術のほか、パンやカステラなどがもたらされた。

p.30~31

Step 3

- ① ① ㊦ 鉄砲 ① フランシスコ=ザビエル
- ② キリシタン大名
- ③ 例 南蛮貿易の利益を期待したため。④ ㊤
- ② ① 安土城 ② B ㊦ C ㊷
- ③ D ㊦ E ㊤ ④ ㊤ ⑤ ㊠ ⑥ 豊臣秀吉
- ⑦ 例 百姓が一揆を起こさないようにするため。
- ③ ① ㊦ 十字軍 ① カルバン
- ② オスマン帝国
- ③ X コロンブス Y バスコ=ダ=ガマ
Z マゼラン
- ④ ミケランジェロ ⑤ プロテスタント
- ④ ① ㊷ ② ㊷ ③ 桃山文化
- ④ (出雲の) 阿国

考え方

- ① ① 鉄砲やキリスト教の伝来は、戦国時代の社会に大きな影響を与えた。これらを伝えた国や人物、伝わった場所をおさえよう。
- ② ③ キリシタン大名となることで南蛮貿易を有利に進め、利益を得る目的があった。
- ④ 銀はヨーロッパからもたらされたものではないので、㊤が誤り。16~17世紀には、日本の銀産出量が世界の銀産出量の約3分の1を占めていた。
- ② ① 信長は近江国(滋賀県)の安土に安土城を建て、城下で楽市・楽座の政策を行った。
- ② B ㊦三河(愛知県)の長篠で起こった戦い。信長と徳川家康の連合軍が甲斐(山梨県)の武田勝頼を破った。C ㊷尾張(愛知県)の桶狭間で起こった戦い。信長が駿河(静岡県)の今川義元を破った。
- ③ 信長は自身に抵抗する仏教勢力を降伏させるため、㊤延暦寺を焼き討ちにしたほか、各地の一向一揆やその根拠地である㊦石山本願寺と戦った。
- ④ ㊤は豊臣秀吉が行った政策。
- ⑤ ㊦北条氏は関東地方。㊷伊達氏は東北地方。
- ㊤毛利氏は中国地方。
- ⑥ 資料は刀狩令の一部を要約したもので、命じたのは豊臣秀吉。
- ⑦ 百姓に一揆を起こさせず、農業に専念させて年貢を確実に集める目的があった。
- ③ ① ㊦エルサレムからイスラム勢力を追い払うために派遣したが失敗に終わった。④カルバンは神の救いを信じて行う勤労によって得た富を認めたため、ヨーロッパの商工業者に広く受け入れられた。
- ② イスラム教徒が支配し、巨大化した帝国。13世紀末のトルコの地域で起こった。
- ③ Xは大西洋を西に進んでいるのでコロンブス、Yは大西洋を南に進み、アフリカ南端の喜望峰を回りインドに到達しているのでバスコ=ダ=ガマ、Zは世界一周をしているのでマゼランの一行とわかる。
- ④ ミケランジェロはルネサンスを代表するイタリアの彫刻家。
- ⑤ プロテスタントは「抗議する者」を意味する。
- ④ ① ㊷カステラはポルトガルから伝来した。
- ② 千利休が大成したのは㊷詫び茶。㊦能は観阿弥・世阿弥父子、㊤水墨画は雪舟がそれぞれ大成させた。④狂言は能の合間に上演された芸能。㊦㊠㊤は室町時代の文化。
- ③ 秀吉が築いた伏見城辺りをのちに桃山とよんだことにちなんで桃山文化という。
- ④ かぶき踊りを始めた出雲(島根県)の阿国は、出雲大社の巫女で、大社の修復費用をかせぐために各地をめぐるたとされる。

第4章 近世の日本と世界②

p.32

Step 1

- 1 徳川家康 2 徳川家光 3 朱印状
- 4 出島 5 清 6 通信使 7 株仲間
- 8 徳川綱吉 9 浮世絵 10 享保の改革
- 11 打ちこわし 12 松平定信 13 異国船打払令
- 14 天保の改革 15 国学 16 寺子屋

p.33~35

Step 2

- 1 1 A 老中 B 京都所司代 2 徳川家光
- 3 武家諸法度 4 ア
- 2 1 ア 島原・天草 1 イ ポルトガル
- ウ オランダ
- 2 清 3 ア C 1 D 2 B 4 鎖国
- 5 シャクシャイン
- 3 1 ウ 2 五人組 3 ウ 4 1
- 5 公事方御定書
- 4 1 ⑤ 2 浮世絵 3 人形浄瑠璃
- 5 1 ア 田沼意次 1 イ 株仲間 2 ウ 水野忠邦
- 2 寛政の改革 3 打ちこわし
- 6 1 1 2 寺子屋 3 ア 4 蘭学

考え方

- 1 1 A 勘定奉行・町奉行・大目付・遠国奉行を配下においているので老中だとわかる。老中は将軍のもとで政治を行った最高職。B 朝廷の監視のほか、西国大名の監視や京都町奉行も担当した。
- 2 幕府のしくみが整ったのは3代将軍徳川家光のころ。
- 3 武家諸法度では、大名の築城や大名が無断で結婚することなどが禁止された。
- 4 アが正しい。1 は古くから徳川氏の家臣であった大名。2 は徳川氏の一族。3 は1万石未満の領地をもつ將軍家直屬の家臣のうち、將軍に会うことができる者をさす。
- 2 1 ア 島原・天草一揆は厳しい年貢の取り立てやキリシタン弾圧を背景に、キリシタンが中心となって起こした。1 イ ウ 幕府は、キリシタンの抵抗を恐れ、スペインやポルトガル船の来航を禁止し、オランダ商館を出島に移すなど外国との貿易を制限した。

- 2 滅亡した明にかわって中国を統一した。
- 3 対馬は朝鮮、薩摩は琉球王国、松前はアイヌ民族との窓口であった。
- 4 「鎖国」の語が使われたのは19世紀以降のこと。鎖国のもとで、幕府は海外からもたらされる情報や貿易の利益を独占した。
- 5 シャクシャインは不平等な取り引きに不満をもつアイヌの人々の指導者として、松前藩と戦った。
- 3 1 2 千歯こきが正しい。江戸時代には新たな農具や肥料の登場で、作業効率や農業生産力が上がった。
- 2 連帯責任を負わせることで、農民を互いに監視させて取り締まった。
- 3 三都はア大阪・イ江戸・ウ京都のことをさすので、2 博多が間違い。
- 4 新井白石を重く用いたのは6代・7代将軍。
- 5 裁判の件数が増えたことをうけて、裁判や刑の基準を示した。
- 4 1 写真Ⅰは⑤菱川師宣の『見返り美人図』。
- 2 浮世絵は菱川師宣によって大成された。
- 3 人形浄瑠璃は三味線と語りに合わせて人形を操る芝居で、近松門左衛門の脚本が有名。
- 5 1 ア 田沼意次は商業の活性化を通じて財政を再建しようと、商工業者の1 株仲間を増やした。2 ウ 水野忠邦は、物価の上昇の原因が株仲間にあるとして、株仲間を解散させた。
- 2 寛政の改革という。表中の政策のほか、出版物の統制など、風紀の取り締まりが厳しかったため、人々の不満を高めた。
- 3 飢饉などで困窮した民衆が米屋や大商人などを襲撃することを打ちこわしという。
- 6 1 写真Ⅱは1 杉田玄白らが翻訳した『解体新書』。
- 2 寺子屋で「読み・書き・そろばん」を学んだ。
- 3 アが正解。1 曲亭(滝沢)馬琴の代表作は『南総里見八犬伝』。2 井原西鶴は浮世草子、⑤近松門左衛門は人形浄瑠璃の脚本で有名。
- 4 西洋の近代的な学問をオランダ語で研究する学問を蘭学といった。

p.36~37

Step 3

- ① ① 例 幕府と藩が全国の土地と民衆を支配するしくみ。
- ② X 百姓 Y 武士
- ③ 参勤交代 ④ ㊦
- ② ① ㊦ 徳川綱吉 ㊧ 徳川吉宗 ㊨ 松平定信
- ② A ㊦ B ㊧ C ㊨
- ③ 例 株仲間を増やすことで、幕府に入る営業税を増やすため。
- ④ 朱子学 ⑤ ㊦
- ③ ① 例 キリシタンを見つけ出すための絵踏に使う。
- ② ㊦ ③ ㊦・㊧ ④ ㊧・㊨
- ⑤ 例 日本の沿岸に接近する外国船を砲撃して追い払う。
- ④ ① ㊦ ② 浮世草子 ③ 伊能忠敬
- ④ ㊦ ⑤ ㊦

考え方

- ① ① 大名が支配する領地と政治組織を藩という。
- ② X は百姓。Y は武士。幕府は武士・百姓（農民など）・町人（商人や職人）に身分をわけた。人口のほとんどが百姓であり、武士の人口はそれほど多くなかった。
- ③ 領地との往復の費用や江戸での生活費などが負担となり、藩の財政を苦しめた。
- ④ 幕府は武家諸法度で大名の築城を規制していたので、㊦が誤り。
- ② ① ㊦ 極端な動物愛護を強制する生類憐みの令を出したのは、5代将軍徳川綱吉。㊧ 裁判の基準である公事方御定書を定めたのは、8代将軍徳川吉宗。㊨ 朱子学を重んじ、湯島聖堂の学問所で人材育成に努めたのは老中の松平定信。
- ② A は5代将軍と8代将軍の間なので、6代・7代将軍に重く用いられた新井白石について書かれた㊦があてはまる。B 田沼意次の政治は、浅間山の噴火や天明の飢饉により一揆や打ちこわしが急増したことで行きづまったので、㊧があてはまる。C 松平定信の時代から水野忠邦の時代の間起きた天保の飢饉で苦しむ人々を助けるために大塩

平八郎が挙兵したので、㊦があてはまる。

- ③ 田沼意次は積極的な商業政策を推し進め、商品の流通や生産から利益を得ることで財政の立て直しをはかった。
- ④ 幕府の学問所では、朱子学以外の儒学の講義が禁止された。
- ⑤ ㊦が正しい。㊦享保の改革は徳川吉宗、㊧寛政の改革は松平定信が行った。
- ③ ① 写真の金属板は踏絵といい、これを踏ませることを絵踏という。絵踏はキリシタンを見つけ出すために行われた。
- ② ㊦オランダは、キリスト教を布教しなかったため貿易が許された。
- ③ 「四つの口」とは、琉球王国との窓口である㊦薩摩、オランダ・中国との窓口である㊧長崎、朝鮮との窓口である㊨対馬、アイヌの人たちとの窓口である㊩松前なので、㊦と㊩が間違い。
- ④ ㊧と㊦が正しい。田沼意次は銅や俵物の輸出を活発にしようとした。俵物とは、いりこや干しあわび、ふかひれなどの海産物を袋に詰めたものことで、主に中国へ輸出され、料理の食材として使われた。
- ⑤ ロシア・イギリス・アメリカの船がたびたび接近したことをうけて、幕府は異国船打払令を出した。
- ④ ① 写真 I は㊨俵屋宗達が描いた『風神雷神図屏風』。
- ② 井原西鶴は浮世草子とよばれる小説で、町人の欲望や生活の様子を生き生きと描いた。
- ③ 伊能忠敬は、幕府からの命令を受けて全国の沿岸を測量して正確な日本地図を作った。
- ④ 曲亭（滝沢）馬琴の代表作は㊦『南総里見八犬伝』。㊧は松尾芭蕉の代表作。㊨は水戸藩によってつくられた歴史書。㊩は十返舎一九の代表作。
- ⑤ 本居宣長が大成した学問は㊦国学。国学は、日本の古典を研究し、仏教や儒教が伝来する前の日本人の精神を明らかにする学問。

第5章 日本の近代化と国際社会①

p.38

Step 1

- ① ピューリタン革命 ② 名誉革命
- ③ アメリカ合衆国 ④ 人権宣言 ⑤ 資本主義
- ⑥ 南北戦争 ⑦ インド大反乱 ⑧ アヘン戦争
- ⑨ 日米和親条約 ⑩ 井伊直弼
- ⑪ 尊王攘夷運動 ⑫ 薩長同盟 ⑬ 大政奉還
- ⑭ 王政復古の号令 ⑮ 戊辰戦争

p.39~41

Step 2

- ① ①ア ②イ
- ③ ワシントン ④ 人権宣言
- ② ①産業革命 ② 資本主義 ③ ①
- ③ ①イギリス ② 南京条約 ③ ①
- ④ リンカン (リンカーン) ⑤ ア
- ④ ①ア 浦賀 ① 日米和親条約 ② 井伊直弼
- ② ① ③ 例 関税自主権がなかったため。
- ⑤ ① 安政の大獄 ② ㊥ ③ ア
- ④ 坂本龍馬
- ⑥ ①ア 明治 ① 戊辰 ② 徳川慶喜 ③ ア

考え方

- ① ① ② クロムウェルはピューリタン革命を指導し、共和政を樹立したが、議会を解散して独裁政治を行ったため、彼の死後に王政が復活した。
- ③ ワシントンは植民地軍の総司令官として独立戦争を勝利に導いた。
- ④ 人権宣言は基本的人権の尊重と市民社会の政治にとって重要な原則を示した。
- ② ① 18世紀以前のヨーロッパでの工業生産は、手工業が中心であった。
- ② 資金や機械などを所有する資本家が、賃金をもらって働く労働者をやとい、利益を求めて生産や販売を行った。
- ③ ①が正しい。ア)ルソーは『社会契約論』、㊦ロックは『統治二論』、㊧モンテスキューは『法の精神』をそれぞれ著している。
- ③ ① 自国の利益のために麻薬のアヘンを密輸して銀を調達したイギリスと、銀不足とアヘンの害により取り締まりを強化した清との間で戦争が始まった。

- ② 清にとって不利な条約で、巨額の賠償金の支払いと領土の一部が奪われた。
- ③ クリミア戦争で敗れたロシアは、社会や経済のしくみの遅れが敗因と認め、①農奴解放令を出して農民の身分を自由にし、近代化を進めた。
- ④ 奴隷制度に反対したリンカンが大統領に就任すると、奴隷制度に賛成している南部との対立を深め、南北戦争が起こった。ゲティスバーグ演説で語られた「人民の、人民による、人民のための政治」という言葉が有名である。
- ⑤ ②ビスマルク首相の下でプロイセン王国が分立していた諸国を統一し、ドイツ帝国をつくった。
- ④ ①ア 浦賀に現れたペリーは、大統領の国書をもって日本に開国をせまった。①日米和親条約によって下田と函館を開港し、下田にはアメリカの領事が駐在した。②井伊直弼が結んだ日米修好通商条約は、日本にとって不利な不平等条約であった。
- ② ①が間違い。日米修好通商条約では神奈川(横浜)・函館・長崎・新潟・兵庫(神戸)を開港した。
- ③ 関税自主権とは、輸入品の関税率を決めることができる権利のこと。
- ⑤ ① 開国や将軍のあとつぎなどをめぐって幕府の政策に反対した大名や公家、攘夷論者などを処罰した事件を安政の大獄という。
- ② 井伊直弼は自身の政策に反対する水戸藩士などの浪士によって暗殺された。
- ③ ア)が正しい。薩摩藩は薩英戦争で攘夷が困難とさとしたことで反幕府の立場をとった。
- ④ 坂本龍馬は土佐藩出身で、脱藩後は海援隊という海運・貿易を行う組織をつくった。
- ⑥ ①ア 明治天皇が即位すると、倒幕を目指す勢力の動きが活発となった。①王政復古の号令で慶喜の新政府参加が認められなかったため、1868年には戊辰戦争が始まった。
- ② 15代将軍の徳川慶喜は、江戸幕府最後の将軍であり、大政奉還などを行った。
- ③ 王政復古の号令で、天皇中心の政治とすることを宣言した。

p.42~43

Step 3

- 1 ① A ① B ㊶ C ㊷
 ② アメリカ合衆国 ③ ① ④ ①
 ⑤ 例 奴隷解放が宣言され、黒人に選挙権が与えられた。 ⑥ ㊶
- 2 ① A イギリス B 中国 (清) ② 南京条約
 ③ 異国船打払令 ④ 太平天国
 ③ ① ㊶ ペリー ① 日米修好通商条約
 ② ㊶・㊷ ③ 桜田門外の変
 ④ ①→㊶→㊷
- 4 ① 生糸
 ② 例 関税を決める権利が日本になかったため。
 ③ ㊶・㊷

考え方

- ① ① A は①。イギリスは1600年に東インド会社を設立した。B は㊶。クリミア戦争は1853年に起こった戦い。C は㊷。ドイツ帝国は1871年に建国された。
- ② 北アメリカの13植民地は、ヨーロッパ諸国から支援をうけて独立戦争に勝利し、アメリカ合衆国を建国した。
- ③ フランス革命は18世紀末のできごとなので、①寛政の改革(1787~93年)と同時期。
- ④ 南北戦争は、奴隷制度に反対する北部を支持する①リンカンがアメリカ大統領になったことで、奴隷制度を支持する南部と対立し、起こった。
- ⑤ 北部側が勝利したことで、奴隷解放が宣言され、黒人に選挙権が与えられたが社会的な差別はまだ根強く残っている。
- ⑥ ㊶が正しい。モンテスキューは『法の精神』で三権分立を主張した。①『社会契約論』の著者はルソーで、人民主権を主張した。㊷『資本論』の著者はマルクスで、資本主義の限界と社会主義社会の実現を主張した。
- 2 ① A はインドから綿花を輸入して綿織物を輸出しているのも機械で安価な綿織物を生産していたイギリス、B はインドからアヘンが輸入されているので、清だとわかる。
- ② イギリスと清の間で起こったアヘン戦争の結果、締結された条約は南京条約。
- ③ 清がイギリスに敗北したことに衝撃を受けた幕府は、日本沿岸に接近する外国船を砲撃して追い払うことを定めた異国船打払令を廃止し、薪水給与令を出し、燃料や水を与えて退去させる方針に転換した。
- ④ 清では、賠償金などの支払いのために重税が課され、生活が苦しくなった農民は、理想の国をつくるため洪秀全を指導者として太平天国を建国したが、清に倒された。
- ③ ① ㊶は日本に開国を迫るために派遣されたペリー。①は井伊直弼らが結ぶとあるので、日米修好通商条約があてはまる。
- ② 日米和親条約で開港されたのは、㊶函館と㊷下田の2港である。
- ③ 桜田門外の変は、安政の大獄などによって井伊直弼の政策に対する反発を強めた水戸藩などの浪士らが起こした。
- ④ 1867年に明治天皇が即位すると、薩摩藩や長州藩などを中心に倒幕の動きが高まった。そこで徳川慶喜は新しい政権のなかでも主導権を維持するために、同年10月に朝廷に政権を返し(大政奉還)、12月には倒幕を目指す勢力が天皇中心の政治を宣言し、新政府をつくった(王政復古の発令)。慶喜は新政府への参加が認められず、領地を差し出すことを命じられたため、不満をもった旧幕府軍は1868年1月に鳥羽・伏見で新政府軍と戦いを起こし、約1年半におよぶ戊辰戦争が始まった。
- ④ ① A は日本の主な輸出品であった生糸があてはまる。生糸は盛んに輸出されたが生産が追いつかず、国内で品不足を引き起こした。
- ② 関税自主権がない不平等条約であったのは日米修好通商条約。特に綿織物業が、外国からの安価な品物の輸入により大打撃を受けた。
- ③ ㊶と㊷が正しい。開港の影響を受けて、日本の物価は上がった。物価が上がった理由の1つとして、日本と海外で金銀の交換比率が違ったことがある。これによって金貨(小判)が海外に流出し、物価が上昇した。

第5章 日本の近代化と国際社会②

p.44

Step 1

- ① 五箇条の御誓文 ② 版籍奉還
- ③ 廃藩置県 ④ 学制 ⑤ 徴兵令
- ⑥ 地租改正 ⑦ 文明開化 ⑧ 岩倉使節団
- ⑨ 日朝修好条規 ⑩ 自由民権運動
- ⑪ 西南戦争 ⑫ 伊藤博文 ⑬ 教育勅語

p.45~47

Step 2

- ① ①ア 五箇条の御誓文 ① 明治 ② 版籍奉還
- ② ② ③ 藩閥政治
- ③ ① ① ② 徴兵令 ③ 3
- ④ ① 富岡製糸場 ② 殖産興業
- ⑤ ③ 福沢諭吉
- ⑥ ① 岩倉使節団
- ⑦ ② ① 日清修好条規 ② 日朝修好条規
- ⑧ ③ A ア 日本 イ ④ 琉球処分
- ⑨ ① 板垣退助 ② ① ③ 国会期成同盟
- ⑩ ⑥ ① ①・② ② 伊藤博文 ③ 枢密院
- ⑪ ④ ① ①・②

考え方

- ① ① ア 五箇条の御誓文は、天皇が神に誓う形で発布された。① 明治以降、年号は天皇の在位中に一つのみと定められた。② 版は領地、籍は領民のこと。
- ② ② 廃藩置県により、藩主の代わりに政府から県令（県知事）が派遣され、政治を行うようになった。
- ③ 公家の岩倉具視、薩摩藩の西郷隆盛、長州藩の木戸孝允、土佐藩の板垣退助、肥前藩の大隈重信らが中心となった。
- ④ ① ① が正しい。男子の就学率は50%をこえていたが、女子の就学率は低かった。
- ② ② 満20歳となった男子に、士族や平民の身分の区別をせず、兵役を義務づけた。
- ③ ③ 土地に対して課税することで政府の財源は安定したが、人々の負担は変わらなかった。地租改正に反対する一揆が起こった。
- ⑤ ③ ① 写真Ⅰは富岡製糸場。当時、最大の輸出品であった生糸を生産していた。
- ⑥ ② 欧米から招いた外国人をお雇い外国人とい

う。政府は、西洋の技術や知識を取り入れることで、欧米の先進国に対抗する国をつくろうとした。

- ③ 写真Ⅱは福沢諭吉。慶應義塾（現在の慶應義塾大学）を創立した人物でもある。
- ④ ① 岩倉使節団が欧米諸国に派遣された目的の一つは、不平等条約の改正であった。
- ⑤ ② ① 日清修好条規は、日本が外国と初めて結んだ対等な条約であり、この条約によって清との国交が開かれた。② 日朝修好条規を結んだことによって鎖国を続けていた朝鮮を開国させた。
- ⑥ ③ 樺太・千島交換条約はAのロシアと日本の間で結ばれた条約。この条約で、ア樺太がロシア領に、イ千島列島が日本領となった。
- ⑦ ④ 琉球王国を日本の領土に組み込むため、政府はまず琉球藩を設置し、その後、軍隊を派遣して琉球藩を廃止し、沖縄県を設置した。
- ⑧ ① 板垣退助は自由民権運動の中心的な人物。
- ⑨ ② ① が正しい。政府の政策に不満をもった鹿児島の子士族など約4万人が兵をあげた。
- ⑩ ③ 国会期成同盟は、早く国会を開設するように政府へ訴えた。
- ⑪ ⑥ ① 君主の権力が強い①ドイツと②オーストリアの制度を主に参考にした。
- ⑫ ② 欧米で政治制度を研究した伊藤博文は、近代的な内閣制度を整備するために初代の内閣総理大臣となった。
- ⑬ ③ 枢密院は、天皇の求めに応じて政治の重要事項を審議する機関のこと。
- ⑭ ④ ① と ② が正しい。1890年に行われた衆議院議員総選挙では、選挙権を、直接国税を15円以上納める満25歳以上の男子に限っていたため、有権者は人口の約1.1%で、多くは地主などの裕福な人々であった。

p.48~49

Step 3

① ① 五箇条の御誓文 ② ㊤

③ 例 版籍奉還後も藩主が藩の政治を行っていたため。

④ 学制 ⑤ 地券

⑥ 例 安定した財源を手に入れるため。

⑦ ㊠

② ① 西郷隆盛 ② ㊠→㊡→㊢→㊣

③ 貴族院, 衆議院 ④ 大隈重信

⑤ ㊠・㊤ ⑥ 自由民権運動

③ ① 岩倉使節団 ② ㊡ A ③ ㊠ C ㊣ B

④ B ⑤ 才 ⑥ 同化政策

④ ① ㊤ ② ㊣ ③ 新橋, 横浜

考え方

- ① ① 「広く会議ヲ興シ万機公論ニ決スヘシ」という一文から、会議を開いて世論に基づく政治を行うという方針を示した五箇条の御誓文だとわかる。
- ② ㊤が間違い。大政奉還は1867年で、これによって江戸幕府は滅びた。
- ③ 版籍奉還後も元の藩主が藩の政治を行っていたため、中央集権国家を建設する目的は達成されなかった。
- ④ 政府は学制によって、6歳以上の男女に教育を受けさせることで近代化を実現させるための人材を育成していこうとした。
- ⑤ 資料Ⅱは地券。土地の所有者と土地の価格(地価)を証明したものである。
- ⑥ 当時の租税は米価の変動や収穫量などで不安定であった。安定した財源が必要であった政府は、米価や収穫量に左右されないように、土地に対して課税して土地所有者に税を納めさせた。
- ⑦ ㊠が間違い。25歳以上ではなく20歳以上。
- ② ① 写真は西郷隆盛。西南戦争では、鹿児島^{かごしま}の士族らが西郷をかつぎ上げた。
- ② 民撰議院(国会)の開設を主張した民撰議院設立建白書を提出したのは1874年。その後、1880年に国会期成同盟がつくられた。政府は国会開設を約束し、行政制度を整えるため、1885年に内閣制度を整備し、1889

年に大日本帝国憲法を發布した。

- ③ 帝国議会は衆議院と貴族院で成り立っていた。
- ④ 大隈重信は東京専門学校(今の早稲田大学)を設立した人物でもある。
- ⑤ ㊠と㊤が間違い。天皇は国の元首であり、言論の自由は法律の範囲内で認められた。
- ⑥ 自由民権運動は、板垣退助らが民撰議院設立建白書を政府に提出したことをきっかけに始まった。
- ③ ① 写真は岩倉使節団。岩倉具視^{とみみ}を大使とし、欧米の先進国で政治・産業・文化などを調査して、日本の近代化に役立てた。
- ② ㊡ 樺太・千島交換条約はAのロシアと、㊠ 日清修好条規はCの清と、㊣ 日朝修好条規はBの朝鮮とそれぞれ結んだ。
- ③ 江華島事件は、朝鮮の江華島付近で、無断で侵入した日本の軍艦を朝鮮が砲撃した事件なのでBがあてはまる。この事件がきっかけで日朝修好条規が結ばれた。
- ④ 琉球の人々が台湾に漂着して殺害された事件をきっかけに才の台湾に出兵した。
- ⑤ 同化政策とは、日本語を使うことを求めたり、姓名を日本式にしたりすること。これまでの習慣や風俗を改め、日本人として組み込むことを目的とした。
- ④ ① ㊤が間違い。太陰暦ではなく、太陽暦が採用された。太陽暦は、太陽を基準につくられ、1年を12か月、1日を24時間とした。㊢㊣ ㊣はそれぞれ文明開化を代表する生活様式の変化である。
- ② ㊣が正しい。郵便制度は飛脚^{ひやく}に代わる制度で、イギリスの制度にならって整備された。現在でも見られる郵便ポストや切手などもこの時に整備された。
- ③ 日本で初めて鉄道が開通したのは新橋と横浜の間。数年後には大阪と京都の間も開通した。鉄道や水運、道路などの整備によって、多くの人や物資を運ぶことができるようになり、全国的に交流が盛んになった。

第5章 日本の近代化と国際社会③

p.50

Step 1

- 1 帝国主義
- 2 陸奥宗光
- 3 小村寿太郎
- 4 下関条約
- 5 立憲政友会
- 6 義和団事件
- 7 日英同盟
- 8 ポーツマス条約
- 9 韓国併合
- 10 中華民国
- 11 八幡製鉄所
- 12 田中正造
- 13 野口英世
- 14 樋口一葉
- 15 夏目漱石

p.51~53

Step 2

- 1 1 スエズ運河 2 A ㊦ B ㊥ C ㊩ D ㊨
- 3 日英通商航海条約 4 ㊥
- 2 1 ㊦ 甲午農民戦争 ㊩ 下関 ㊨ 2
- 2 ㊦ 3 ㊨
- 3 1 ㊦ 大韓帝国 (韓国) ㊩ 義和団事件
- ㊨ ロシア ㊥ 旅順
- 2 ㊩ 3 ポーツマス条約 4 ㊩
- 4 1 伊藤博文 2 朝鮮総督府
- 3 辛亥革命 4 孫文
- 5 1 A ㊩ B ㊨ C ㊦ D ㊥
- 2 労働争議 3 大逆事件
- 6 1 A 4 B 6 2 ㊩ ㊩ ㊨ ㊨ ㊨ 3 森鷗外

考え方

- 1 1 スエズ運河が開通する前は、ヨーロッパとアジアを行き来するためには、アフリカ大陸をぐるりと回り、喜望峰きぼうほうを通して向かわなければならなかった。
- 2 A はアヘン戦争後にイギリスと連合して清と戦争を起こして勝利した㊦フランス、B はシベリア鉄道とあることから㊥ロシア、C はインドを支配したとあることから㊩イギリス、D はハワイを併合したとあることから㊨アメリカとわかる。
- 3 日清戦争の直前に結ばれた。
- 4 ㊥小村寿太郎は日露戦争のあとに関税自主権の回復に成功した。
- 2 1 ㊦甲午農民戦争をしずめるために朝鮮政府が清に助けを求めると、日本も出兵し、日清戦争が始まった。㊩下関条約は下関やまぐち(山口県)で結ばれた日清戦争の講和条約。㊨賠償金の2億両は主に軍備拡張費に使われ

た。

- 2 ㊦樺太の南半分はポーツマス条約でロシアから譲渡された。
- 3 三国干渉を行ったのはロシア、ドイツ、フランスである。
- 3 1 ㊦清から独立したことを示すために国号を改め、国王の高宗は皇帝となった。㊩義和団事件をしずめるために日本やロシアを中心とした8か国が出兵した。㊨は義和団事件を機に満州まんしゅうを占領したロシア。㊥旅順は三国干渉後にロシアが租借した。
- 2 ㊩東郷平八郎は日露戦争で日本艦隊を率いた海軍軍人。
- 3 アメリカのポーツマスで講和会議が開かれたため、ポーツマス条約とよばれている。
- 4 ㊩が間違い。賠償金が取れなかったため、国民が不満の声を上げた。
- 4 1 統監は韓国の外交を監督した。
- 2 韓国併合とともに、統監府を改めて朝鮮総督府をおいた。
- 3 4 清の支配を打倒する運動が高まるなか、1911年に三民主義をかける孫文が中心となって辛亥革命が起きた。清から多くの省が独立し、翌年に孫文を臨時大総統として中華民国が建国された。
- 5 1 A 1890年代になると、㊩製糸業や紡績業などを中心に産業革命が進んだ。B 日清戦争の賠償金などで設立されたのは㊨八幡製鉄所。C 1900年代に入ると、鉄鋼業や㊦造船業などの重工業が発達した。D ㊥足尾銅山の鉱毒事件は日本で最初の公害問題である。
- 2 労働者と使用者が労働条件などをめぐって争うことを労働争議という。
- 3 天皇や皇后などに危害を加えようとすることを大逆罪という。
- 6 1 政府は学校教育を通じて、同じ考え方や生活に必要な知識などを広めようとした。
- 2 1 ㊦北里柴三郎はペスト菌と破傷風の血清療法を発見し、㊨野口英世は黄熱病を研究した。㊥長岡半太郎は物理学者で、原子構造の研究を行った人物。
- 2 ㊨黒田清輝は印象派の影響を受けて新たな洋画を発展させた。㊦高村光雲は日本の

伝統的な技術に西洋の技法を加えた作風で国内外から評価された彫刻家。①横山大観は日本画の発展に努めた日本画家。④岡倉天心はフェノロサなどととも日本伝統的な美術を再評価し、美術学校の設立や展覧会の開催に力をそそいだ。

③森鷗外は、欧米の個人を尊重する考え方と日本の古くからの考え方との間で悩む人々の姿や自由な感情を描いた。

p.54~55

Step 3

- ① ① ㉞ 甲午農民 ① 義和団
 ② 日英同盟 ② 韓国併合
- ② ㉞ ③ ㉞ ④ 遼東半島
- ⑤ ロシア、ドイツ、フランス
- ⑥ 与謝野晶子
- ⑦ 例 賠償金が取れなかったから。
- ⑧ ① 孫文 ② 三民主義
- ② ① ㉞ ② 田中正造
- ③ ① 八幡製鉄所 ④ 治安警察法
- ③ ① 鹿鳴館 ② 津田梅子 ③ ① ㉞ ② ㉞

考え方

- ① ① ㉞ 甲午農民戦争をしずめるために清と日本が出兵したことで日清戦争が起こった。① 清の自衛組織である義和団を中心とする民衆が外国人を排除しようとした事件。② 日英同盟は東アジアで勢力を強めるロシアを警戒して結ばれた。② 韓国併合によって植民地支配が始まった。
- ② 写真の左側の人物がロシア、真ん中の軍人が日本、軍人をそそのかしているのがイギリスとアメリカである。
- ③ 日清戦争が起こったのは1894年なので、㉞ が正しい。① 憲政党が結成されたのは1898年。② 大逆事件が起こったのは1910年。④ 関税自主権が完全に回復したのは1911年。
- ④ 下関条約で譲渡されたのは遼東半島、台湾、澎湖諸島だが、三国干渉によって遼東半島が返還された。
- ⑤ 日本はロシア、ドイツ、フランスに対抗する力がなかったため、三国の要求を受け入れた。

- ⑥ 与謝野晶子や、キリスト教徒の内村鑑三や社会主義者の幸徳秋水が戦争に反対した。
- ⑦ 国民は戦費のための増税や出兵による犠牲に耐えて戦争に協力していたため、賠償金を取ることができないとわかって講和反対・戦争継続の声が高まり、日比谷焼き打ち事件などが起こった。
- ⑧ 孫文は「民族主義、民権主義、民生主義」の三民主義を唱え、辛亥革命の中心となり、中華民国を建国して臨時大総統になった。
- ② ① ㉞ 日本銀行の設立は1882年。片山潜の指導によって労働運動が起こったのと社会民主党の結成は日清戦争後、重工業の発達は日露戦争後のことなので㉞①㉞は1880年代のできごとではない。
- ② 足尾鉍毒事件で被害者の救済と銅山の操業停止を求めたのは地元の衆議院議員であった田中正造である。
- ③ 写真の工場は八幡製鉄所。日清戦争後に鉄道の建設や軍備の拡張で鉄鋼の需要が高まったため、官営の八幡製鉄所を設立して1901年から国内での鉄鋼の生産を始めた。
- ④ 治安警察法は、産業の発展によって起こった労働運動を取り締まるために制定された。この法律によって、日本で最初の社会主義政党である社会民主党が解散させられた。
- ③ ① 写真は鹿鳴館で開かれた舞踏会の様子である。外務卿の井上馨は、欧米の風俗や習慣を積極的に取り入れる欧化政策を行い、条約改正の交渉を有利に進めようとした。
- ② 女子英学塾（現在の津田塾大学）は津田梅子によって設立された。日露戦争後、男女の就学率の差がほとんどなくなると女子教育が盛んになった。
- ③ ① 『荒城の月』を作曲したのは㉞ 滝廉太郎で、学校で歌われる唱歌などを多く作曲した。㉞ 正岡子規は俳人、① 坪内逍遙は作家、④ 木村栄は天文学者である。
- ② ㉞ が間違い。島崎藤村の代表作には『若菜集』や『破戒』などがある。『にがりえ』の作者は樋口一葉である。

第6章 二度の世界大戦と日本①

p.56

Step 1

- ① 三国同盟 ② 三国協商 ③ 第一次世界大戦
- ④ 二十一か条の要求 ⑤ ロシア革命
- ⑥ ベルサイユ条約 ⑦ 国際連盟
- ⑧ ワシントン会議
- ⑨ 三・一独立運動 ⑩ 五・四運動
- ⑪ 大正デモクラシー ⑫ 民本主義
- ⑬ 原敬 ⑭ 普通選挙法 ⑮ 治安維持法

p.57~59

Step 2

- ① ① X 連合国 Y 同盟国 ② ⊕ ③ ①
- ④ ⊖ ⑤ 総力戦
- ② ① ア 二十一か条の要求 ① ウィルソン
⊖ ソビエト社会主義共和国連邦 (ソ連)
- ② レーニン ③ シベリア
- ③ ① パリ ② ⊕ ③ ①
- ④ ① 日英同盟
- ④ ① ア 三・一独立運動 ① 五・四運動
- ② 中国国民党 ③ ア
- ⑤ ① 第一次護憲運動
- ② ア 米騒動 ① 普通選挙法 ⊖ 治安維持法
- ③ 平塚らいてう
- ⑥ ① A ⊖ B ⊕ C ア D ① E ⊕
- ② 芥川龍之介 ③ 小林多喜二

考え方

- ① ① X 連合国は三国協商, Y 同盟国は三国同盟の各国が中心であった。
- ② ⊕が間違い。三国同盟を結んだ国はドイツ・オーストリア・イタリア。しかしイタリアは第一次世界大戦で最終的に連合国側に付いている。
- ③ ①が間違い。三国協商を結んだ国はイギリス・フランス・ロシア。
- ④ オーストリアの皇太子夫妻がサラエボでセルビアの青年に暗殺されると、オーストリアはドイツの支援を受けてセルビアに宣戦し、セルビアを三国協商の国が支援したことで第一次世界大戦が始まった。
- ⑤ 大戦が長引き、新しい兵器も登場するなどしたことから、勝利のために国や社会全体

を戦争に巻き込む状況に陥っていった。

- ② ① ア 日本政府は、山東省でのドイツ権益の譲渡、旅順・大連の租借期間の延長などを要求した。④ 平和原則は、民族自決、公海航行の自由、軍備縮小など14項目から成っていた。
- ② レーニンを中心に、臨時政府を倒して、ソビエト政府を樹立した。
- ③ 日本をふくむ連合国の数か国が、ロシア革命の影響が及ぶことを恐れてソビエト勢力を倒そうと、ロシア東部のシベリアに出兵した。
- ③ ① パリでの講和会議はアメリカのウィルソン大統領の平和原則が基礎となった。
- ② ③ 国際連盟の本部はスイスのジュネーブに置かれ、日本を含めた42か国が参加したが、ロシアや敗戦国のドイツは参加が認められず、アメリカは議会の反対で加盟しなかった。
- ④ 日英同盟は日本の外交の中心であり、第一次世界大戦もこの同盟に基づいてイギリスと同じ連合国側についた。
- ④ ① それぞれ、3月1日、5月4日から始まった運動であることから、こうよばれている。
- ② ③ 孫文が中国国民党を指導していたことから中国共産党と協力関係にあったが、蒋介石が引き継ぐと、共産党と対立し、南京に国民政府をつくった。
- ⑤ ① 尾崎行雄や犬養毅ら政治家と新聞記者たちが中心となって運動を展開した。
- ② ア 米騒動は富山県の漁村で始まり、全国に広がった。① ⊖ 加藤高明内閣は普通選挙法を成立させると同時に、国の体制を変えようとする動きを抑えるために治安維持法を制定した。
- ③ 平塚らいてうなどの活動によって、女性の政治集会への参加が認められた。
- ⑥ ① 大正時代には、都市の発展や教育の普及が進むなかで大衆が新たな文化の担い手となった。
- ② 芥川龍之介の代表作には、『羅生門』のほか『鼻』や『地獄変』などがある。
- ③ プロレタリア文学は、労働者の立場に立って、その感情や思想、生活などを描いて発展した。しかし労働者階級の解放運動と結びついた

ため、弾圧^{だんあつ}を受けた。

p.60~61

Step 3

① ① A 三国協商 B 三国同盟

a イギリス b ドイツ

② 例 オーストリアの皇太子夫妻がセルビア人に暗殺された。

③ ㊵ ④ 十四か条 ⑤ ㊶

⑥ ベルサイユ条約 ⑦ 国際連盟

② ① 例 シベリア出兵を見込んだ米の買い占めがおきたから。

② 吉野作造 ③ イギリス ④ 朝鮮 ⑤ ㊶

③ ① 小作争議 ② ㊵ ③ ㊶・㊷

④ ① ㊵ ② ㊶ ③ ㊵・㊷

考え方

① ① A・a 三国協商はイギリス・ロシア・フランスの三国で結ばれた。B・b 三国同盟はオーストリア・イタリア・ドイツの三国で結ばれた。

② 1914年、オーストリアの皇太子夫妻がサラエボでセルビア人の青年に暗殺された事件をきっかけに第一次世界大戦が始まった。

③ 第一次世界大戦は1918年に同盟国側の各国が降伏し、ドイツで革命が起こったことなどをうけて㊵連合国側が勝利した。

④ ⑤ 写真はアメリカのウィルソン大統領。1918年、ウィルソン大統領は、公海航行の自由や軍備縮小、民族自決の原則など十四か条からなる平和原則を発表した。

⑥ ベルサイユ条約によってドイツは領土の一部と植民地を失い、巨額の賠償金の支払いを命じられるなどした。

⑦ 国際連盟は日本を含めた42か国が参加して発足し、本部はスイスのジュネーブに置かれた。

② ① 大戦景気によって労働者の賃金が上がりが物価が上がったことに加え、シベリア出兵を見込んで米が買い占められるなどして米価が急に上昇した。これによって、1918年に富山県の漁村の女性たちが米の安売りなどを求める運動を起し、全国的に拡大して大規模な米騒動に発展した。

② 民本主義とは、大日本帝国憲法の範囲内でも、民衆の考えに基づく政治を実現できるという考え方である。なお、天皇機関説を主張したのは美濃部達吉である。

③ カンディーは、インドを植民地としていたイギリスに対して、「非暴力・不服従」を貫く独立運動を展開した。

④ 1919年3月1日、日本からの独立を求める運動が始まり、朝鮮全土に広がったため、日本は警察や軍隊を動員してしずめた。

⑤ ㊶が間違い。ソビエト政府は第一次世界大戦のすべての交戦国に対して、「無併合・無賠償・民族自決」の原則に基づいた講和を呼びかけたが受け入れられず、単独で不利な条件の講和を同盟国側と結んだ。

③ ① 第一次世界大戦後、ロシア革命や米騒動などの影響で社会運動が活発となり、農村では小作争議が盛んになった。

② 小作争議に影響を与えたのは㊵日本農民組合。日本農民組合は1922年に結成された日本で最初の全国的な農民組合で、各地で小作争議を指導した。

③ 第二次護憲運動によって護憲派の加藤高明内閣が成立し、1925年には普通選挙法が成立した。普通選挙法では、満25歳以上のすべての男子に選挙権が与えられ、直接国税の規定もなくなった。しかし、女性の参政権は認められなかった。

④ ① ㊵柳田国男は各地に残る伝承の記録や伝統的な生活の研究などを行い、民俗学を提唱した。代表作に『遠野物語』がある。

② 『暗夜行路』の著者は㊶志賀直哉。志賀直哉は同じく人道主義の理想をかかげる作家らと雑誌『白樺』を創刊した。『白樺』を中心に活躍した作家たちの一派を白樺派という。

③ ㊵と㊷が間違い。㊵テレビ放送が始まったのは1953年で昭和時代のことである。㊶就学率は日露戦争後にはすでに100%に近づいていた。

第6章 二度の世界大戦と日本②

p.62

Step 1

- ① 世界恐慌 ② ローズベルト
- ③ ブロック経済 ④ ファシズム ⑤ 満州国
- ⑥ 五・一五事件 ⑦ 二・二六事件
- ⑧ 日中戦争 ⑨ 国家総動員法 ⑩ 大政翼賛会
- ⑪ 第二次世界大戦 ⑫ 日独伊三国同盟
- ⑬ 太平洋戦争 ⑭ 沖縄戦 ⑮ 原子爆弾 (原爆)

p.63~65

Step 2

- ① ① a ニューディール (新規まき直し) 政策
b ブロック経済 c 五か年計画
- ② A ア B ㊦ C ㊧ D ㊨ ③ ㊩
- ② ① ㊪ ② 犬養毅 ③ 国際連盟
- ③ ① ア 二・二六 ㊫ 盧溝橋
㊬ 国家総動員法 ㊭ 大政翼賛会
- ② ㊮
- ④ ① ㊯ ② ア 不可侵条約 ㊰ フランス
- ③ レジスタンス
- ④ 大統領 ローズベルト 首相 チャーチル
- ⑤ ① ア 日ソ中立条約 ㊱ 石油
㊲ 真珠湾 ㊳ ミッドウェー
- ② 学徒出陣 ③ ㊴
- ⑥ ① ㊵
- ② ア 東京 ㊶ ポツダム宣言
㊷ 原子爆弾 (原爆)
- ③ 沖縄 (県)

考え方

- ① ① a アメリカはニューディール政策で公共事業を増やして失業者を助けた。b イギリスの政策はブロック経済とよばれ、これにより貿易に頼っていた他国の経済は悪化した。c ソ連が影響を受けなかったのは、工業化や農業分野の社会主義政策を進める五か年計画を行っていたからである。
- ② A ニューディール政策には、㊷失業者を助ける目的もあった。B イギリスが貿易を拡大したのは本国と㊸植民地。C この頃のドイツで勢力を伸ばしたのはヒトラー率いる㊹ナチ党。D この頃のイタリアで政権を握っていたのはムッソリーニ率いる㊺ファ

シスト党。

- ③ ソ連を結成したレーニンの死後、新たに指導者となったのは㊻スターリン。
- ② ① 満州事変のきっかけとなったのは、1931年9月に日本軍 (関東軍) が㊼柳条湖で南満州鉄道の線路を爆破した柳条湖事件。
- ② 犬養毅は当時の首相。満州国の承認に反対し議会政治を守ろうとし、反発した海軍青年将校らに五・一五事件で殺害された。
- ③ 国際連盟は満州国の建国を認めなかったため、日本は国際連盟を脱退した。
- ③ ① ㊽の二・二六事件は鎮圧されたが、政治に対する軍部の影響力が強まった。㊾の盧溝橋事件は日本軍と中国軍の武力衝突である。㊿の国家総動員法は日中戦争が長期化する中で制定された。㊽の大政翼賛会は1940年にまとめられた。
- ② この頃、㊿毛沢東を指導者とする中国共産党は、蒋介石が率いる国民政府と内戦状態だったが、日本軍の侵攻により一時休戦した。
- ④ ① 枢軸国の名は、ムッソリーニの「ヨーロッパの国際関係は独伊両国を枢軸として転回する」という演説に由来する。
- ② ドイツはポーランド侵攻の際にイギリス・フランスからの干渉を弱める目的で、ソ連はドイツとの戦争を避ける目的で、不可侵条約を結んだ。
- ③ レジスタンスはドイツ占領下のフランスなどで起こり、ドイツ軍の作戦を妨害するなどした。
- ④ アメリカのローズベルト大統領とイギリスのチャーチル首相は、ファシズム勢力に対抗するため、大西洋憲章を発表した。
- ⑤ ① ㊿日本は南進を続けるため、日ソ中立条約によって北方の安全を確保した。㊿日本は石油をアメリカからの輸入に頼っていたため、輸出禁止によって確保が難しくなった。㊿1941年に日本海軍が真珠湾の米軍基地を奇襲攻撃した後、アメリカとイギリスに宣戦布告し、太平洋戦争が開戦した。㊽日本海軍はミッドウェー海戦の敗北で戦力を大幅に失い、戦局はアメリカに有利となった。
- ② 戦争が長期化し、理科系や教員養成系以外

の大学生などの徴兵猶予を停止した。

- ③ A はアメリカ (America), B はイギリス (Britain), C は中華民国 (China), D はオランダ (Dutch) のこと。
- ⑥ ① ④ 東条英機は、太平洋戦争開戦時の首相。
- ② ㉞ 東京大空襲などがおこり、空襲が激しくなると、都市部の小学生は農村へ集団で疎開するようになった。① ポツダム宣言は、1945年7月に発表されたが、日本はこれを無視し、アメリカは1945年8月6日に広島、9日に長崎へ㉞ 原子爆弾を投下した。
- ③ 沖縄戦では約12万人が犠牲となった。

p.66~67

Step 3

- ① ① ㉞ ② c ③ 満州事変
- ④ 例 国際連盟が日本に出した、満州国からの撤退の勧告に反発したため。 ⑤ e
- ② ① ㉞ ② ㉞
- ③ ① 広島市 ② 原子爆弾 (原爆)
- ③ ① ㉞
- ② 例 北方の安全を確保し、南方に侵攻するため。
- ③ A 大政翼賛会 B 日独伊三国同盟
C 太平洋戦争
- ④ ① ア ② A ③ ポツダム宣言

考え方

- ① ① ㉞ ソ連は、五年計画によって世界恐慌の影響をほとんど受けなかった。
- ② 資料の紙面には「犬養首相遂に逝去」とあるので、犬養毅が海軍青年将校らに殺害された c 五・一五事件が正しい。
- ③ 柳条湖事件をきっかけに始まったのは満州事変。満州の大部分を占領した日本軍は、1932年に満州国の建国を宣言した。
- ④ 国際連盟は、日本の満州での権益は認められたものの満州国を独立国と認めず、日本軍の撤兵を勧告したため、日本は国際連盟を脱退した。
- ⑤ e 盧溝橋事件をきっかけに日中戦争が始まった。
- ② ① 写真 I は、1943年に東京で開かれた㉞ 学徒出陣の壮行会の様子。学徒出陣によって、

多くの文科系学生が戦場に送られた。

- ② 写真 II は1941年に行われた日本軍による㉞ 真珠湾攻撃の様子を写したものだ。日本はこの奇襲攻撃に成功し、アメリカ・イギリスに宣戦布告して太平洋戦争が始まった。
- ③ 写真 III は原子爆弾投下後の広島市の様子。原子爆弾が投下されたのは広島と長崎だが、真ん中に写っている原爆ドームから広島と判断できる。広島に原子爆弾が投下されたのは1945年8月6日、長崎はその3日後の9日であることは覚えておこう。
- ③ ① ㉞ が間違い。戦時下では国民生活よりも軍需品の生産が優先され、物資が不足したため、政府は価格統制を命じた。
- ② 日本は北方の安全を確保しながらインドシナなど南方に侵攻するため、ソ連と日ソ中立条約を結んだ。日本の敗戦が濃厚になると、1945年8月にソ連は条約の破棄を通告し、満州や南樺太に侵攻した。
- ③ A 「大半の政党や政治団体が解散し」「まとめられた」とあるので、1940年に結成された大政翼賛会があてはまる。B ドイツやイタリアと結んだとあるので、1940年に結ばれた日独伊三国同盟があてはまる。C 日本がフランス領インドシナ南部に侵攻すると、アメリカとの関係が悪化し、日米間の交渉もまとまらず、日本はアメリカとの開戦を決定した。
- ④ ① ヒトラーはドイツの首相なのでアが正しい。ヒトラー率いるナチ党は独裁体制を築き上げ、ドイツ民族の優秀さを強調して、ユダヤ人を迫害したり、占領国から戦争に必要な資源をうばったりした。
- ② ヤルタ会談に参加したのは、アメリカ・イギリス・ソ連の首脳なので、A ソ連が正しい。ヤルタ会談では、ソ連の対日参戦と千島列島の領有などが密かに決められていた。
- ③ 日本は当初、ポツダム宣言を無視していたが、戦況が絶望的なこと、空襲や原子爆弾によって都市部が大きな被害を受けたこと、ソ連が満州や南樺太に侵攻してきたことなどにより、昭和天皇の判断でポツダム宣言の受け入れが決定した。

第7章 現代の日本と世界

p.68

Step 1

- ① G H Q ② 日本国憲法 ③ 農地改革
 ④ 国際連合 (国連) ⑤ 冷たい戦争 (冷戦)
 ⑥ 毛沢東 ⑦ 朝鮮戦争
 ⑧ 日米安全保障条約 (安保条約)
 ⑨ ベトナム戦争 ⑩ 日中平和友好条約
 ⑪ 石油危機 ⑫ イラク戦争 ⑬ バブル経済

p.69~70

Step 2

- ① ① A 労働組合法 B 基本的人権
 C 教育基本法 D 財閥解体
 ② 1946 (昭和21) 年11月3日
 ② ① 国際連合 (国連) ② 警察予備隊
 ③ ⑤ ④ 冷たい戦争 (冷戦)
 ③ ① A ⑤ B ④ C ① ② 沖縄県 ③ ④
 ④ ① A → C → B ② ベルリンの壁
 ③ マルタ ④ ⑤ ⑤ バブル経済

考え方

- ① ① A は労働組合法。このほか、労働条件の最低基準を示した労働基準法、争議について示した労働関係調整法も制定され、これらをまとめて労働三法という。B 日本国憲法の三原則は、国民主権・基本的人権の尊重・平和主義 (戦争の放棄) である。C は教育基本法。これによって教育勅語が廃止され、義務教育の期間は9年となった。D は財閥解体。G H Q は財閥が日本の経済を独占し、軍国主義を支えていたとして解体を命じた。
- ② 現在、日本国憲法が公布された11月3日は文化の日、施行された5月3日は憲法記念日として国民の祝日となっている。
- ② ① 国際連合は、国際社会の平和と安全を維持する目的で1945年10月に発足した。日本は1956年に加盟している。
- ② G H Q は戦後すぐに日本の民主化・非軍事化を進めたが、冷戦で対立が深まるとその方針を転換した。1950年に朝鮮戦争が始まると、G H Q は国内の治安維持を目的に警察予備隊を新設した。警察予備隊は保安隊を経て、現在の自衛隊となる。
- ③ ④ が間違い。日米安全保障条約は、1951年にサンフランシスコ平和条約と同時に結ばれた。
- ④ アメリカを中心とする陣営と、ソ連を中心とする陣営の間に直接、武力による衝突が起きなかったため、冷たい戦争 (冷戦) とよばれた。
- ③ ① A アメリカが⑤北ベトナムを爆撃し、軍隊を派遣したことでベトナム戦争が始まった。ソ連は北ベトナム、アメリカは南ベトナムをそれぞれ支持していた。B 1967年に発足したのは④ E C (ヨーロッパ共同体)。E U は1993年発足なので注意しよう。C 第四次中東戦争ではアラブ諸国がイスラエルを支持する先進国に対して原油の値上げなどを行ったので、石油危機が起こった。
- ② 1960年代、沖縄県で祖国復帰運動が高まったことで、1971年に佐藤栄作首相がアメリカと沖縄返還協定を結び、1972年に本土復帰が実現した。
- ③ ④ が正しい。⑦と⑤は佐藤栄作内閣が行ったこと。①は田中角栄内閣が行ったこと。
- ④ ① A は1989年、B は2003年、C は1991年のできごと。
- ② 写真は1989年、「ベルリンの壁」が取り壊される様子である。その後、1990年に東西ドイツは統一された。
- ③ アメリカのブッシュ大統領とソ連のゴルバチョフ共産党書記長がマルタ会談を行った。
- ④ 1990年、イラクが石油資源獲得のためにクウェートへ侵攻したことをきっかけにして、1991年、湾岸戦争が起こった。
- ⑤ 経済が実体以上に大きくふくらんだ状態を泡に例えて、バブル経済とよぶ。1990年代の初めにはバブル経済は崩壊し、日本は不況となった。

p.71~72

Step 3

- ① ① B ② 国民主権、基本的人権の尊重、平和主義（戦争の放棄）
- ③ ㊦ ④ ㊧ ⑤ ㊨
- ⑥ ① ㊩ ② 冷たい戦争（冷戦） ③ ㊦
- ⑦ 高度経済成長期
- ⑧ 例 核兵器を「持たず、つくらず、持ち込ませず」
- ⑨ ㊩
- ⑩ ① ㊦ ドイツ ② ヨーロッパ連合（EU）
- ② 例 銀行の資金援助を受けた企業が、土地や株式を買い集めたため。
- ③ 55年体制
- ③ ① ㊩ ② 原爆ドーム ③ ㊩

考え方

- ① ① 日本は、日ソ共同宣言によってソ連との国交を回復し、ソ連の支持を受けて国連への加盟が認められたので B が正しい。
- ② 日本国憲法の三原則は、国民主権・基本的人権の尊重・平和主義（戦争の放棄）である。1946年11月3日に公布され、1947年5月3日に施行された。
- ③ GHQ は民主化政策の一つとして、地主と小作人の関係を改めるため㊦農地改革を国に命じ、国が買い上げた耕地を小作人に安く売ったことで自作農が急増した。
- ④ ㊨ が間違い。サンフランシスコ平和条約をめぐって分裂していた社会党が統一したことを受けて、自由党が日本民主党と合同して自由民主党を結成したのは1955年のこと。
- ⑤ ㊨ 朝鮮戦争は、1950年、ソ連の支援を受けた北朝鮮が北緯38度線を越えて韓国に侵攻してきたことで始まった。
- ⑥ ① ソ連中心のワルシャワ条約機構と対立していたのはアメリカ中心の㊩NATO（北大西洋条約機構）であり、この両陣営による直接戦火を交えない対立を②冷たい戦争（冷戦）という。③冷戦は、アメリカとソ連の両首脳による㊦マルタ会談で終結が宣言された。
- ⑦ X の期間は1955年から約20年間を示している
- るので、高度経済成長期とわかる。高度経済成長期に経済が急速に発展し、1968年には国民総生産が資本主義諸国の中でアメリカに次いで第2位となった。
- ⑧ 非核三原則は1971年の沖縄返還協定の議決のときに、衆議院で決議された政府の方針。
- ⑨ 第四次中東戦争でアラブ諸国は、イスラエル寄りの立場をとった先進国に対して原油の値上げや輸出停止などで対抗したため、㊩石油危機が起こった。
- ⑩ ① ㊦ベルリンの壁はドイツのベルリンを東西に分断していた。㊩ECは1993年にEUとして発展し、経済の統合に加えて、外交や防衛政策など政治の統合を目指した。
- ② バブル経済は経済の実体に伴わない不健全な好景気であったため、1990年代の初めに崩壊した。地価や株価が急落したため、経営悪化による倒産が相次ぎ、日本は長い不況を迎えることとなった。
- ③ 1955年に社会党が統一し、それを受けて自由党と日本民主党が合同して自由民主党が結成された。以降、政権を担う与党の自民党と、社会党などの野党が対立する政治体制ができあがったため、55年体制とよばれている。
- ③ ① 写真Ⅰは戦後の㊩闇市の様子である。闇市とは、配給や政府が定めた価格によらないで品物を売り買ひする市場のこと。
- ② 写真Ⅱは広島県広島市にある原爆ドームである。1945年8月6日、広島市上空に原子爆弾が投下され、多くの人々が犠牲となり、市内の建物なども大きな被害を受けた。
- ③ 写真Ⅲは2001年の同時多発テロ事件で爆破されたアメリカにある世界貿易センタービル。同時多発テロ事件で多くの犠牲者を出したアメリカは、オサマ=ビンラディン率いるテロ組織アルカイダの犯行として、ビンラディンらを支援していたアフガニスタンを攻撃した。